

令和元年第5回定例会一般質問通告事項

12 月 6 日	杉原孝一郎議員（尾道未来クラブ）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 公共下水道関係と合併浄化槽等利用者との間の維持管理費用の大きな負担格差の是正を求めると共に、この件に関する市長の受けとめと、対応策について</p> <p>(1) 公共下水道関係の事業にあつては、その全世帯数のわずか9.15%の受益者に対し、実質、年間10億円を超える事業資金の不足分を一般財源等で補填している。その額、1戸当たり14万7千円。一方浄化槽設置者の維持管理費はすべて個人負担。そればかりか、その費用は、ほぼ2倍。この不公平・不公正を是正するのが政治。市長は政治家です。この極端な不合理をいつまでに是正するお積もりか、期限を明確にした方針をお示しください</p> <p>2 実情を精査することなく、あまりに拙速、あまりに粗雑な論法で進めようとしている土堂小、長江小、久保小、3小学校の統廃合について、異議ありの立場で、土堂小廃校案に絞って、下記疑問に対する答弁を求めます。</p> <p>(1) 過去850年で、土堂小学校裏手が崩壊した記録はあるのか</p> <p>(2) 歴史あるまちなか小学校の存廃を、これまでの説明とはまったく違う計画が、どういう過程を得て教育委員会内で決まったのか</p> <p>(3) 同校を廃校にすると決めた、詳しい時期と経緯</p> <p>(4) 土堂小学校廃校案に、教育委員全員も協議に参加し、承知したのか</p> <p>(5) 成功例として全国的に名高い個性ある学校を潰すと決めた心境を</p> <p>(6) 最終的に決断したのはどなたか</p>	